

平成24年 5月16日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所

災害に備える！

平成24年度

愛知県ブロック春期災害対策用機械等操作訓練を開催します。

1 概要

中部技術事務所では、災害に備え、国土交通省職員、自治体職員及び災害時の協力協定を締結している愛知県建設業協会の会員を対象に、排水ポンプ車をはじめとした災害対策用機械等の操作訓練を実施します。

なお、この訓練は毎年春期と秋期の年2回実施しているものです。

平成23年度の春期参加者実績は、3日間で209名が訓練に参加しています。

2 内容等

日時：平成24年5月21日(月) ～5月23日(水)
9:50～16:20

場所： 21日 中部技術事務所(国土交通省、自治体職員対象)
22・23日 中部技術事務所及び庄内川右岸 勝川橋北付近
(愛知県建設業協会加盟各社対象)

内容：中部技術事務所保有の災害対策用機械等の操作訓練
＜訓練参加予定車両＞
排水ポンプ車、照明車、対策本部車、待機支援車、衛星通信車
分解型バックホウ

報道取材：操作訓練の全般において取材が可能です。

3 資料 添付資料

4 配布先 中部地方整備局 記者クラブ

5 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副所長 いそがわ 五十川 俊一 TEL:052-723-5701(代表)
建設専門官 川口 一彦 FAX:052-723-5707



「エコチュウ」とはエコロジーと中部技術を合わせた愛称です。

平成24年度 愛知県ブロック前期災害対策用機械等操作訓練

＜訓練スケジュール（予定）＞

【5月21日（月）】

訓練対象者：国土交通省・愛知県・市町村職員

訓練対象機械：排水ポンプ車、照明車、対策本部車、待機支援車、衛星通信車、
（分解型バックホウは展示説明）

1. 開会挨拶	9:50～	《中部技術事務所事務所2F会議室》
2. 座学	10:00～	《中部技術事務所事務所2F会議室》
3. 操作訓練（午前）	11:00～	《中部技術事務所事務所構内》
4. 昼休み	12:00～	
5. 操作訓練（午後）	13:00～	《中部技術事務所事務所構内》
6. 閉会挨拶	16:00～	《中部技術事務所事務所2F会議室》

【5月22日（火） 23日（水）】

訓練対象者：愛知県建設業協会加盟各社

訓練対象機械：排水ポンプ車、照明車

（対策本部車、待機支援車、衛星通信車、分解型バックホウは展示説明）

1. 開会挨拶	9:50～	《中部技術事務所事務所2F会議室》
2. 座学	10:00～	《中部技術事務所事務所2F会議室》
3. 操作訓練（午前）	11:00～	《中部技術事務所事務所構内》
4. 昼休み	12:00～	
5. 操作訓練（午後）	13:00～	《中部技術事務所事務所構内》
6. 移動	13:30～	
7. 操作訓練（午後）	14:00～	《庄内川右岸(勝川橋北付近)》
8. 移動	15:30～	
9. 閉会挨拶	16:00～	《中部技術事務所事務所2F会議室》

5月22日・23日の排水ポンプ車の操作訓練は、庄内川右岸（勝川橋北付近）に移動し実際に河川に排水ポンプを設置して訓練を実施します。

平成24年度 愛知ブロック春期災害対策用機械等操作訓練
実施場所



訓練場所①

国土交通省 中部技術事務所
名古屋市東区大幸南1-1-15

訓練場所②

庄内川右岸 勝川橋北

<訓練場所② 詳細位置図>



中部技術事務所の保有する災害対策用機械

中部技術事務所では、中部地方整備局管内における災害発生時の広域的な復旧活動を支援することを目的とし、災害現場における現地対策本部として使用する車両や浸水箇所での緊急排水を行う車両、夜間にわたる災害復旧時の照明を行う車両などの「災害対策用機械」を保有しています。また、平成23年3月には大規模地震による天然ダムに対応した遠隔操縦ができる分解型バックホウを導入しました。

今後も、中部地方整備局管内だけでなく近年増加している各自治体や中部地方整備局管外への支援など、多岐にわたる災害対策支援活動を実施していきます。

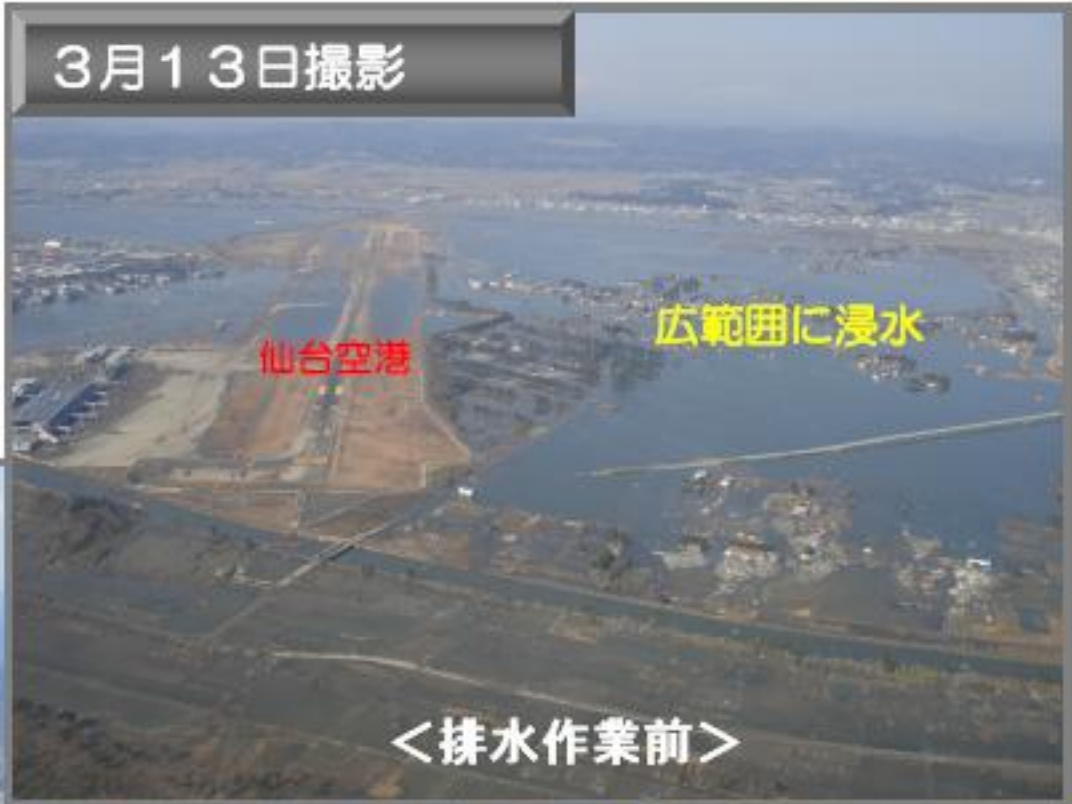
＜中部技術事務所が保有する災害対策用機械一覧＞

名称	規格等	台数	概要	訓練対象
対策本部車	車体拡張式	1	災害現場において、情報収集、応急対策の指揮を行う「現地対策本部」として使用。	○
待機支援車	発動発電機付	1	長時間の災害現場で必要となる簡易ベッドやトイレを装備し、活動する人々を支援。	○
照明車	25kVA 10mブーム	3	地上10mの高さから、災害現場を照らすことが可能。(2kW×6灯)	○
	25kVA 20mブーム	3	地上20mの高さから、災害現場を照らすことが可能。(2kW×6灯)	○
排水ポンプ車	60m ³ 級	3	毎分60m ³ の排水能力。	展示
	40m ³ 級	1	毎分40m ³ の排水能力があり、人力で設置可能。	展示
	30m ³ 級、高揚程	2	揚程20mで毎分30m ³ の排水能力があり、人力で設置可能。	○
衛星通信車	発電機付	1	衛星回線を利用し、国内全域において映像、音声の通信手段を確保。	○
分解型バックホウ	1.0m ³ 遠隔操縦式	2	陸送出来ない箇所は分解して空輸でき、災害現場では遠隔操縦で作業ができます。	展示 *デモ操作有
応急組立橋	6.5m × 40m	1(橋)	最大幅員6.5m、最大支間40mの仮設橋。	対象外
投下型水位計	圧力式水位計、40m	2	ヘリコプターで投下することにより、人が近づけない天然ダムなどの水位を計測しデータを送信します。	展示
クレーン	25t吊	1	60m ³ 級排水ポンプの設置に使用。	展示

<操作訓練参加機械>

排水ポンプ車の活躍状況（東日本大震災）

東日本大震災では、仙台空港周辺が津波により広範囲にわたって浸水。排水ポンプ車により付近一帯で大規模な排水作業を実施しました。排水作業により空港の**早期機能復旧**に役立ちました。



4月2日に排水作業が完了し浸水区域が解消されました。

東日本大震災における排水ポンプ車の対応実績(中部地方整備局分)

排水地区	排水作業期間	排水ポンプ車 延べ台数(台)	排水相当量 (万m ³)	目安 (25mプールに換算すると)
宮城県東松島市	3/16~4/14(30日間)	4台	259	約7,200杯分
宮城県名取市 (仙台空港周辺)	3/17~4/2(17日間)	3台	85	約2,360杯分
宮城県亶理郡 亶理町	4/1~4/27(27日間)	2台	41	約1,176杯分
福島県相馬市	4/5~4/18(14日間)	2台	92	約2,560杯分
宮城県仙台市 若林区荒浜	4/23~5/17(25日間)	3台	24	約896杯分
			502	約13,992杯分 (東京ドーム4杯分に相当)

排水ポンプ車による排水作業

昨年の訓練状況

<座学の状況>



<排水ポンプ車の設置訓練状況>



<照明車の設置訓練状況>

